SDGs達成に向けた取組みチェックリス 更新　事業者名：肥後木材株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念（社是/社訓）を明文化し、全体会議や朝礼等の場で会社のあるべき姿を従業員に説明し、共有している。 ・各部が年度計画（目標）をもとに期初に経営目標を策定し、全体会議で経営者が当期経営目標、各部責任者が部門別の取組目標を発表するなど、常に問題を共有し、挑戦し続ける文化が形成されている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・就業規則（服務規律・賞罰）に禁止事項等を明文化し、会議や朝礼等の場で都度、法令遵守の重要性を全従業員に向け発信している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員にその重要性を発信している。 ・不公正競争行為の禁止を含む服務心得を就業規則に明文化している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・総務担当役員を責任者として任命している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・令和3年10月に全社員向けSDGs勉強会を実施する等、特許/商標/著作権等の知的財産保護に関する意識の共有を図っている。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・就業規則（服務規律・賞罰）に個人情報保護に関する条文を明文化し、社員にeラーニング講習を受講させるなど、情報漏洩防止に取組んでいる。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・お客様の意見を大切にし、双方向コミュニケーションに取り組んでいる。 ・取引先や行政機関など、ステークホルダーと連携した取り組みを進めている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・業界団体や取引先の活動に関心を持ち、対話に取り組んでいる。 ・地球環境保護や災害発生時の復旧活動支援など、問題意識の共有に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・熊本地震等の経験を踏まえ、BCPを策定し、AED訓練や防災設備の見直し等を行っている。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・熊本県へ特例承認計画確認書を提出して承認計画を立てている。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施し、相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生委員会を設置し、安全パトロールを含め、毎月実施している。 ・ストレスチェックを年一回実施するなど、メンタルヘルス（心の健康）の取組みを行っている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・厚生労働省「同一労働同一賃金ガイドライン」に沿って就業規則を改正し、従業員（正社員・嘱託・パート社員）に対し、公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底や業務効率化による労働時間の短縮など、働き方改革への取組み、有給休暇などの取得奨励を実施し、家事や育児、ボランティア活動への積極的参画などの環境を整えている。（就業規則改正済）			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・外部研修（1on1）の受講や各種資格の取得を会社経費にて実践している。 ・社内表彰制度を創設し、社員のモチベーション強化に取組んでいる。 ・人事制度を刷新し、R6年上期からトライアル運用を開始→達成目標、役割/スキル、姿勢/態度を明文化し、サポート面接を充実させる等、計画的な人材育成に取り組んでいる。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・朝礼等の場で交通事故等への注意喚起や、健康増進の取組み促進を行っている。 ・従業員及び家族の健康維持向上を呼び掛け、各種運動を推奨している。 （higomoku健康チャレンジクラブ、肥後木材ウォーキング部） ・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・健康経営取組企業として、「協会けんぽ」にヘルスター健康宣言を行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・2023年11月に日本の大学院卒の台湾人（在留資格:技術・人文知識・国際業務）を新規採用する等、ダイバーシティ経営に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・コロナウイルス感染予防対策マニュアルを策定し、ウェブ会議の活用、室内換気、三密回避行動等の労働管理体制を整備した。 ・現在、ウィズコロナ対策に引き続き取り組んでいる。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・グループウェア（desknet's NEO）を活用し、社内コミュニケーションを図っている。また、文書管理ソフト（DocuWorks）を導入し、文書の電子化を進め、経理では経理ソフト（FX4）にて電子帳簿を作成している。 ・新たに名刺管理システム（Sansan）、アルコール検知車両管理システム（Bqey）を導入済。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・ブライト企業の認定を受けている。			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリス 更新　事業者名：肥後木材株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・第一種衛生管理者を責任者に任命し、有害化学物質等の適切な管理及び処理に取組んでいる。 ・廃棄物減量・リサイクル計画書を毎年県に提出し、適切な管理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を把握しており、令和2年12月に新型プレカット加工機導入やLED化等の設備更新を行い、工場使用電力30%削減を図っている。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・プレカット工場で使用するフォークリフトの電動化を進めており、令和3年7月に本社1台、令和4年4月に人吉支店1台を各々導入済。今後も順次検討していく予定である。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・社有林（約410町歩）の適正な管理により、生物の生息・生育地の創出に取組んでいる。 ・環境にやさしく人に優しい木材の、原木・製品・プレカット加工品の流通を通じ、生物多様性保全に取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・再生用紙の利用を推進している。 ・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・社有林（約410町歩）の適正な管理により、水源かん養に取組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・再生用紙利用を推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・社内食堂で余った食材は小分けにして従業員が持ち帰っている。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・場内の緑地整備や植栽に取組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・太陽光パネルを自社社屋、工場、テナント施設に設置し、再生可能エネルギーを供給している。 ・太陽光パネルや蓄電池の販売代理店として再生可能エネルギーの利用・普及に取組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・熊本県の「健全な森を育む林業経営者」、林野庁の「森林×ACTチャレンジ2024」のグリーンパートナーにも認定され、持続可能な森林の経営・管理に取り組んでいる。 ・地元の木材市場として、熊本県産材の利用を推進している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・NPO法人や森林組合と連携し、社有林及び未植林地の再造林に取組んでおり、社有林への早生樹の植樹や創立65周年記念植樹など2020年～2023年の3年間で約10,000本（4.74ha）の植樹を行う等、森林整備活動に取組んでいる。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・エンジンタイプからバッテリータイプのフォークリフトに変更することでCO2削減に取組んでいる。 ・2020年～2023年の3年間で4.74haの再造林（植樹）を実施し、年間15.5tのCO2吸収量増加に貢献。林野庁「森林×ACTチャレンジ2024」のグリーンパーナーとして、カーボンニュートラルの実現に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリス 更新　事業者名：肥後木材株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・出荷証明（産地や県産材の証明）や、伐採届の確認等、合法性確認を通じた、持続的な森林資源の流通に取組んでいる。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・事務所玄関入口にスロープを設け段差を解消する等、ユニバーサルデザインの概念に沿った執務環境整備に取り組んでいる。 ・住宅資材部のお客様（各種相談）を中心に段差の無い浴室ユニットや要所への手すり増設等の提案を行っている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・伐採業者や製材業者、材木店等と連携を図り、県産木材の優先的利用を促進し、地産地消を推進している。 【予定】モルダー乾燥加工事業を2025年4月から開始し、県内製材業者とグリーン材の集荷協定を結び、県産乾燥材の普及拡大に取り組む予定である。（現在設備工事中/補助金制度活用）		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・自社の社屋を初め、大型加工材倉庫などを木造で建築している。 ・建築物の木質化に向け、非住宅建物の材料加工に対応したプレカット加工機を導入するなど、「木材」の利用拡大に取組んでいる。 【予定】2025年4月操業開始のモルダー加工施設も木造で建築予定である。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・熊本地震や令和2年豪雨災害の経験をもとに、木造応急仮設住宅の着工スキルを蓄積しており、今後有事の際も積極的に協力（活用）していく方針である。 ・2024年1月に発生した能登半島地震の被災地へ上記スキルを伝授する等、物心両面で支援を行った。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	・県林業研究指導所や関係企業と連携し、センダンやエリートツリーといった早生樹の試験栽培に取組んでいる。 ・地域の製材業者等と連携し、早生樹の需要拡大に向けた動きを進めている。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・就業規則にボランティア活動等への参加を目的とした時差出勤制度を定め、社会貢献活動に積極的に参画するよう奨励している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・消防計画やBCPを策定し、自衛消防組織を編成する等、有事の際の避難行動計画や事前防災対策を進めている。 ・本社事務所にハザードマップを掲示し、周知している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・熊本県木材工業団地組合の依頼により、会社施設にAED（自動体外式除細動器）を設置しており、加盟事業所合同の訓練を実施している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・開発、販売ではないが、災害時にベビーベッドに変身する「トランスフォームとび箱」を2023年から10年間、熊本市と人吉球磨の小学校に寄贈するプロジェクトを展開中。 ※2023年は6校（10台）寄贈…年間10台、計100台を目標									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	令和3年10月に外部講師を招き、全社員向けSDGsセミナーを開催。SDGs達成に向けた会社の経営方針や目指すべき姿の意識共有を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・中学生のナイストライ事業や、高校生・大学/専門学校生の会社見学、インターシップ等を積極的に受け入れている。 ・親子木工教室の会場に会社施設を解放する等、学びの場を提供している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の生徒、学生を積極的に雇用している。 ・独身社宅を完備し、受入態勢を整えている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・県内の高校や林業大学校と連携し、木材業に関する研修（講師協力）を行っている。 ・日本木青連の会員として、木の良さを伝える木育に取組んでいる。 ・2023年から自社で開始した「跳び箱寄贈プロジェクト」の一環として、寄贈した小学校6校で木育授業を行った。（10年間継続予定）		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。